

「不易」と「流行」 誠実・克己・忠恕

～「運」を高める方法って・・・あるの？～

「経営の神様」とよばれた松下幸之助（現パナソニックの創業者）が、人々の心を揺さぶり動かす、国家100年の計を持ったリーダーを育てなければ、と危惧して84歳の時に私財をなげうって、「松下政経塾」を立ち上げました。

松下政経塾の2代目塾頭として14年間、松下幸之助の「人づくり」を学び、支え続けた上甲 晃さん（志ネットワーク 青年塾代表）が「運」について、次のように回想し、述べています。

- 求める人材 -
松下幸之助の求めた
建塾の趣意を深く理解し、
自らの手で理想の日本と世界を創り出す
強い信念と高い志を有する人材

松下政経塾の第1期生907名の応募の中から23名が選ばれました。その際に「受験生のどこを見て選んだのか」という質問に、松下幸之助は……

「それはだな・・・・・・・・・・『運』と・・・・・・・・『愛嬌』だ！」

と答えたのは有名な話です。
「愛嬌」は判別しやすいのですが、
「運」の善し悪しがどうしたら見極められるのか…
私は長年疑問を抱いていました。
ある時、日本ハムファイターズの白井一幸コーチと
玄米酵素の鹿内正孝社長との会話の中に、その答え
を得ました。



鹿内社長から
「**運の強い人を先発メンバーに使うそうですが、
どうしたら運が強いか分かるのですか？**」
と質問を受けた白井コーチは…
「**どんな平凡なゴロを打っても、全力で一塁まで走る人は運が強い。**」
と答えていたのです。

どんな平凡なことでも手抜きをしない。これこそが人生の真理だ！とハッとさせられました。
掃除の神様ことイエローハットの創業者の鍵山秀三郎さんも…
「**凡事徹底**」と、**誰もができることを誰も真似できないほどに徹底する大切さ**を説いておられます。
易しいことを、どんな時でも例外なくやり続ける。
その積み重ねによって、運がよくなり、人生が開けていくのです。
「致知」8月号 特集 積み重ね 積み重ねても また積み重ね より

現在、上甲 晃さんは「志ネットワーク 青年塾」を立ち上げ、その代表として未来のリーダーの育成にご活躍されています。その青年塾での「人生の合い言葉」をいくつか紹介しますね。

- ・同じやるなら「ハイ！喜んで」
- ～「いやいや、しぶしぶ」は時間の無駄～
- ・「退路」を探すな！……「活路」を探せ！
- ・準備は結果を予言する
- ・「あいにく」の一日はない！
- ～雨の日でも「最高の雨」だと思ふことで、いつでも「今が最高」になる～
- ・いつでも、どこでも、一人でも
- ～みんなと一緒にあれば大抵のことはできる。**問題は・・・・・・・・たった一人になった時だ！**～
- ・主人公意識
- ～やらされていることは苦痛。**自分で発心し、継続したことは喜びになり、人生を変える力になる！**～